

2011年6月1日

印西市長 山崎山洋様

北総線の運賃値下げを実現する会  
会長 山下兼男

「北総鉄道株式会社に対する申し入れ」についての要望書

日頃より、住民本位の市政に尽力されていることに敬意を表します。

ご承知のように、私ども「北総線の運賃値下げを実現する会(北実会)」は長年にわたり、異常に高い北総線の運賃値下げを実現すべく努力してきました。

昨年7月、京成電鉄成田新高速鉄道が開通しました。沿線に居住するものとしては、これを機に北総線の運賃が大幅に値下げされるものと期待しておりました(新線開通後は京成電鉄も運行本数に応じた資本費分の負担をするものだと考えられていました)。ところが結果は、わずか4.6%の値下げという、全く期待に反するものでした。

京成電鉄と北総鉄道との線路使用料に関する契約は、実質的に線路使用料を払わない内容になっていました。京成は建前上、線路使用料を北総に払うとしているものの、従来北総が収受していた運賃のうち、「京成アクセス特急に乗り換える乗客の運賃を京成が収受し、それを北総に線路使用料の名目で払い戻す」というからくりがあったのです。実質的には線路使用料を全く支払わないというひどい契約だったのです。北総鉄道株式会社が親会社の京成電鉄に対し、実質的利益供与をしていることは明らかです。5%弱合意が結ばれた時には、この内容はまだ公表されていませんでしたので、沿線各市は、いわば「だまし討ち」にあったようなものでした。

また、「北総線沿線地域活性化協議会」が、「さらなる値下げ」の協議機関であるかのごとき説明がされた時期もありましたが、今では活性化協議会は「運賃問題は扱わない」「法定協議会ではなく国の補助金はつかない」ということも明らかとなり、活性化のための事業を行うには、沿線自治体にさらなる負担を求められかねません。

そこで、北総鉄道株式会社の株主である貴市からも北総鉄道の株主として、「株主に損失を与える行為(特別背任)をただちに是正(京成電鉄に適正な線路使用料を支払わせること)する」よう、北総鉄道へ申し入れていただきますよう要望いたします。

取扱いの結果につきましては、お手数ですが、下記事務局までご連絡賜りますようお願い申し上げます。

〒270-1424 白井市堀込 2-1-5-704 間嶋 博 TEL:047-492-4537

以上